

身体障害者補助犬の受け入れについて

当院では、身体障害者補助犬法に則り、身体障害者補助犬の認定を受けた盲導犬・聴導犬・介助犬の同伴を受け入れております。

院内で補助犬を見かけた際は、あたたかくお見守り下さい。

○受け入れ可能な補助犬の種類



受入可能な身体障害者補助犬の種類

1. 盲導犬：目の不自由な人の歩行をサポートします
胸に白または黄色のハーネス（胴輪）をしています
2. 聴導犬：耳が不自由な人へ音を運びます
目立つ部位に「聴導犬」の表示札がついています
3. 介助犬：身体が不自由な人の暮らしをサポートします
目立つ部位に「介助犬」の表示札がついています

○身体障害者補助犬ユーザーの方へ

ご来院の際は、「身体障害者補助犬認定書」「身体障害者補助犬健康管理手帳」の所持、予防接種の有無を確認させて頂くことがありますので、ご協力をお願いします。

○補助犬を見かけたら

- ・身体障害者補助犬は、目や耳や身体に障害が有る方の生活を支えるために特別に訓練された犬です。
- ・同伴者のお手伝いをする大切な仕事を担っているので触ったり声をかけたり気を引いたりせずに、そっと温かくお見守り下さい。
- ・犬アレルギーや犬が苦手な方、その他何か問題があれば遠慮なく職員にお知らせください。

○院内での身体障害者補助犬の同伴区域

- ・同伴可能区域：正面玄関、外来ホール、待合室、診察室、エレベーター
売店、喫茶、食堂
- ・同伴禁止区域：手術室、各種検査室内、病棟内、その他別に病院長が定める区域
- ・補助犬同伴が困難な区域にご用件の有る方は職員にご相談ください

○補助犬以外の動物（ペットやセラピー犬など）同伴でのご来院はお断りしています。

ご理解ご協力の程、よろしくお願ひいたします。

平成 29 年 8 月

国立精神・神経医療研究センター病院長